

キーワード

地域  
体制  
整備

オー  
ナー  
制度

都市  
農村  
交流

学生

- 昭和初期に住民総出で作った石積みの棚田。
- 「ふるさと種蔵村」を設立し「村民」とともに保全活動を実施。

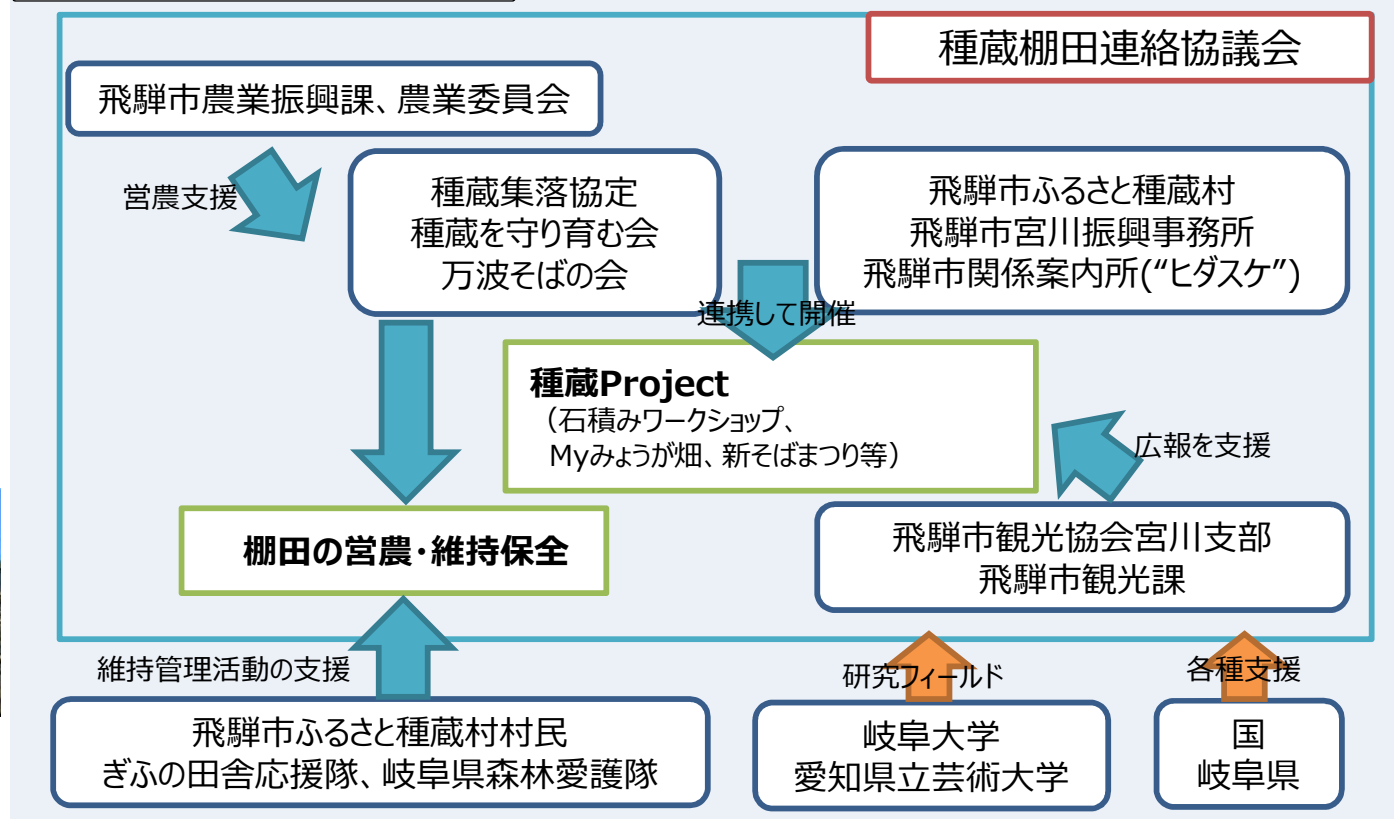
基本情報

- 所在地：岐阜県飛騨市宮川町種蔵ひだし みやがわちょうたねくら  
(飛騨古川駅から車で35分)
- 耕作面積：約3.4ha
- 団体：種蔵棚田連絡協議会
- 選定：かおり風景百選(環境省)  
東海美の里百選(東海農政局)  
ぎふの棚田21選(岐阜県)  
明日の宝もの(岐阜県)

地区の特徴、取組効果

- 昭和初期に、新たに農業用水の利用が可能となったため、お年寄りから子供まで住民総出で石を運び、積み上げて棚田を造成。
- 「ふるさと種蔵村」(H30設立)の「村民」は県内外から約200人(R2)が登録。
- 技術を伝承するため「石積みワークショップ」を定期的開催。参加者がみんなで石積みを補修している。習熟した5名が講師から独自に技術認定を受けた。
- 岐阜大学や愛知県立芸術大学との交流により、芸術や食に関するイベントを開催。
- 東海農政局管内で初めて「指定棚田地域振興活動計画」が認定される。

棚田保全をめぐる関係図



地区内には、火災を避けるため、住居から離れたところに食料を保存する「板倉」が点在。約250年前のものも。



Myみょうが畑プロジェクトの冬支度 来年に備えて畑に藁を敷き詰めます



石積みワークショップの様子